

令和7年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	水の公園福島潟 菱風荘			
管 理 者 名	愛宕商事株式会社	指定期間	令和7年4月1日	～ 令和12年3月31日
担 当 課	新潟市北区産業振興課			
所 在 地	新潟市北区前新田乙364番地 1			
根 拠 法 令	都市公園法			
設 置 条 例	新潟市都市公園条例			
施 設 概 要	- 敷地面積 10,163㎡ - 建築面積 本 館：428㎡（木造2階建て）管理棟兼宿泊施設、宿泊可能人数24名 体験棟：294㎡（木造平屋建て）研修施設 宿泊棟：一般39㎡×6棟・身障者46㎡×1棟（木造平屋建て） 宿泊可能人数6名／棟 - 設置年月 平成12年10月			

施 設 設 置 目 的
宿泊及び研修施設
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
○水の公園福島潟来園者に宿泊・研修の場を提供することを目的として運営する。 ○学校行事や子ども会等の福島潟自然体験活動を通して、次代を担う子どもたちの心身の健全な発達を促す拠点施設であるとともに、福島潟の自然観察や写真撮影、観光等に訪れた人々の活動の拠点施設となるよう運営する。 ○優良な宿泊・研修環境の提供及び福島潟の自然体験活動を生かした各種自主事業の展開により、サービスの向上を図り、子どもたちをはじめとする多くの人に福島潟の豊かな自然に親しんでもらうことで、賑わいの創出と地域の活性化を図る。

令和7年度

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	目標利用者数の達成	宿泊者5,219人 日帰者5,556人(自主事業含む)	宿泊者5,399人 日帰者5,747人	B	
	目標稼働率の達成	宿泊稼働率44.86% 日帰稼働率4.08%	宿泊泊52.67% 日帰2.43%	C	日帰りが達成できなかった
	各サービス向上への取り組み	利用者アンケートの実施	適正に実施	B	
	苦情・要望に対する対応	苦情・要望には5営業日以内に回答	適正に実施	B	
財 務	設置目的に合致したサービス提供	利用推進プランや自主事業企画を3件以上実施	学生半額キャンペーン、体験イベント等20回実施	A	指標を大きく上回った
	経営の安定化	利用料金21,876千円以上	22,164(千円)	B	
	他施設との連携に対する理解	水の公園福島潟の近隣施設と福島潟の保全やPRについて協議会、共同事業を実施	福島潟協議会に参加、福島潟自然文化祭、福島潟エコプロジェクトを実施	B	
業 務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	改善内容に応じて軽易なものは即日、時間を要するものは1週間以内に対応	改善勧告なし	B	
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	防災訓練年2回以上実施	2回実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故発生0件	0件	B	
人 材	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適正に実施	B	
	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	職員研修を年4回以上実施	ミーティング・研修4回、個人スキルUP研修複数回実施	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	適正に実施	B	

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和7年度は指定管理更新1年目として利用人数においても目標値を上回り、順調なスタートとなった。今期は新たな取組みとしてクレジットカード、バーコード決済ができるよう、カードリーダーを導入した。また、敷布団を新調などで利便性の向上に努めた。10月には地盤沈下により危険な状態になっていた電気の配線の工事を行った。施設の課題をクリアすることが出来て大変良かった。

運営面ではインスタの発信に力を入れフォロワーも増加し、800人を超えた。期間限定学生半額キャンペーンを企画するなど、高校生から大学生の利用推進を行った。

令和8年度は更に平日の利用推進を目標に、団体の利用推進、大学、会社関係などの研修利用に向けて、合宿パック、研修パックを見直したいと考えています。お客様のご案内やサービスの仕方なども、スマートで解りやすい受付・ご案内に向けて改善したいと思いをします。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和7年度は指定管理者更新後1年目として、日帰り利用を除いて目標値を上回るなど、順調なスタートを切ることができた点を評価する。利用者の利便性向上に向けカードリーダーの導入やインスタの発信に力を入れるなど、時代のニーズに対応した取り組みを行ったことは称賛に値する。また、施設運営上の課題となっていたインフラ工事を行い、課題をクリアできたことは、安定した施設運営につながる成果である。今後も引き続き利用者ニーズを的確に把握し、課題解決及びサービスの向上に努め、さらなる利用者数の増加と施設管理の充実につなげることを期待する。